

特別講演

ウェブ世論と著作権の新たなリスク

12月10日(木) 16:20~17:50

講師 **福井 健策氏**

弁護士・骨董通り法律事務所代表パートナー

五輪エンブレム撤回問題は社会を、とりわけプロ・クリエイター達の世界を震撼させた。疑惑への対応の悪さを指摘する意見の一方で、社会の著作権への無理解を嘆き、これでは創作が萎縮するという危惧の声も挙がる。従来は問題視されなかったレベルの過去の行為が次々発掘され、炎上しかねない時代。それは一億総発信者時代に、著作権がクリエイターの業界法から「お茶の間法」に変わる過程での必然なのか。従来の法の文脈とは全く異なる「ウェブ世論と炎上」という新たなリスクに、知財はどう対応すべきか。地図なき世界の羅針盤を探る。



【略歴】

- 1991年：東京大学法学部卒業
- 1993年：弁護士登録（第二東京弁護士会・45期）
東京永和法律事務所入所
- 1998年：米国コロンビア大学法学修士課程修了（Harlan Fiske Stone Scholar 賞、セゾン文化財団スカラシップ）
- 1998年-1999年：シンガポール国立大学（NUS）リサーチスカラー（アジア諸国の放送政策に関する助成研究）
- 1999年：内藤・清水法律事務所（現青山総合法律事務所）パートナー
- 2003年：骨董通り法律事務所を設立（現在、同代表パートナー）
- 2009年-：日本大学芸術学部客員教授を兼務
- 2011年：国立国会図書館オンライン資料の補償に関する小委員会 委員長